

## 地震火災対策の推進（重点推進項目）

### 1. 地域における火災予防の推進

- ・耐震自動消火装置の付いた火気設備、住宅用火災警報器や防炎品、住宅用消火器等の普及を図る
- ・まちぐるみでの消火器等を用いた初期消火や飛び火警戒の訓練、防災訓練など、地域における防災教育を通じ、住民の防災意識の向上を図る

### 2. 感震ブレーカーの普及推進

地震時の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカー等の普及を推進

## 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

—4つの習慣・6つの対策—

### 4つの習慣

1. 寝たばこは絶対しない、させない。
2. ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要的プラグは抜く。

### 6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

警察広報

## ～「電話で『お金』詐欺」とSNS型投資・ロマンス詐欺～

## 《「電話で『お金』詐欺」》

## ○令和6年7月末の認知件数及び被害額

- ・認知件数 52件（前年同期比-22件）
- ・被害額 267,183,000円（前年同期比+130,576,000円）



## ○手口の特徴

- ・警察などの公的機関になりすまし、「あなたの名義の携帯電話が犯罪に使用されている。」などと電話をかけてきて、調査名目などで送金させ、お金をだまし取るオレオレ詐欺が最も多い（16件）

SNSを利用して偽の逮捕状や警察手帳などの画像を送ってくることもある。

- ・料金未納やパソコンの修理費などの名目で、電子マネーカードの購入や振込等を要求する架空料金請求詐欺も例年同様多発（15件）
- ・SNS上の副業広告を見て申し込んだ者に対し、「指定口座にお金を振り込めば割り増しされた報酬がもらえる」などと言って送金させ、お金をだまし取る副業名目の詐欺が急増（11件）※手口は「その他の特殊詐欺」に計上

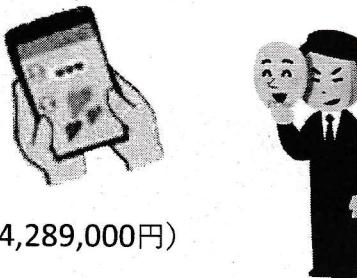
## ○被害者の特徴

- ・被害者の46%が65歳以上の高齢者
- ・副業名目の詐欺が急増したことでの10歳代の被害者も出ている
- ・男女別では約6割が女性

## 《SNS型投資・ロマンス詐欺》

## ○令和6年7月末の認知件数及び被害額

- ・認知件数 57件（前年同期比+31件）
- ・被害額 727,136,000円（前年同期比+414,289,000円）



## ○手口の特徴

- ・SNS上で、有名人が無断で掲載された投資の広告等を表示したり、SNSのダイレクトメッセージを利用して投資を勧めるなどして、SNSのグループに誘導し、偽の投資アプリ（利益が出ているように偽装表示）をダウンロードさせ、投資名目でお金をだまし取るSNS型投資詐欺が最も多い（34件）
- ・県内において、一人当たりの被害額は、約1,300万円にのぼる

## ○被害者の特徴

- ・50歳代と60歳代が約半数を占める
- ・男女別では約6割が男性

## 《被害防止のポイント》

## ○家族や友人、警察に確認・相談をする

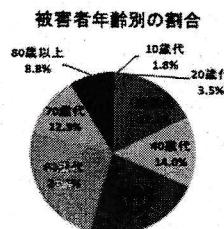
- ・電話で「お金」の話が出たら、一人で判断せず家族や友人のほか、警察等に相談をしましょう。

相談先 ～「電話で『お金』詐欺」ホットライン TEL: 096-381-2567



みやがわ

「忘却の翼」という名前のメダカをお店で見つけました。そのネーミングに私の中の少年魂がうずいたので、妻に飼ってもいいかと尋ねたところ、にべもなく断られました。



## だましの手口を動画でチェック!

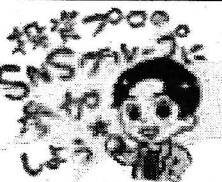


犯人の声

(オレオレ詐欺) (架空料金請求詐欺)



犯人の声



発行

大津警察署

TEL 294-0110

津久礼駐在所